

検査案内書

改定日：2026年4月1日
株式会社 食環境衛生研究所

目次

1	検査実施機関.....	1
2	検体の保存条件.....	1
3	検査依頼書及び検体ラベルの記載事項.....	1
4	医療機関に緊急報告を行う検査値の範囲.....	1
5	個人情報の取り扱いについて.....	1
6	実施検査項目について.....	2
6.1	検便検査（保菌検査）.....	2
6.2	検便検査（ウイルス検出検査）.....	3
6.3	性感染症検査.....	4
6.4	尿・糞便等一般検査.....	5
6.5	その他感染症に関する検査.....	6
7	検査容器.....	7
8	参考文献.....	8

1 検査実施機関

検査実施機関は、下記の場所で実施する。

検査実施機関 : 株式会社 食環境衛生研究所
住所 : 〒 379-2107 群馬県前橋市荒口町 561-21
電話番号 : 027-230-3411
登録番号 : 衛生検査所登録 第 41 号
代表者 : 成瀬智亮
実施責任者 : 子安 拓実
苦情処理担当 : 小林 功幸

2 検体の保存条件

検体ごとに保存条件が異なります。不適切な条件で保存された検体での検査は、正しい検査結果が得られない場合がございます。

申し込みの際には、検体ごとの保存条件をお確かめください。

《保存条件規程》

- 室温：1～30℃
- 冷蔵：1～15℃
- 冷凍：0℃以下

3 検査依頼書及び検体ラベルの記載事項

《検査申込書》

施設名、担当者、検体採取期間、検体数、検体の種類、検査項目、個人別の採取日、氏名、性別、年齢等を記入する。

※ 記載した申込書を複写して受領書として控えてください。

《検体ラベル》

採取年月日、氏名、性別及び年齢を記入する。

4 医療機関に緊急報告を行う検査値の範囲

3 類感染症（赤痢菌、チフス菌、パラチフス A 菌、コレラ菌及び腸管出血性大腸菌）、4 類感染症（エムボックスウイルス、A 型肝炎ウイルス）の検出時にはただちに委託元に緊急連絡する。（5 類感染症：ノロウイルス、コロナウイルス SARS-CoV-2、インフルエンザ、RS ウイルス、ロタウイルス、サポウイルス）

5 個人情報の取り扱いについて

お客様の個人情報については個人情報保護規定に基づき適正な管理を実施致します。

6 実施検査項目について

6.1 検便検査（保菌検査）

検査項目	検査方法	検査材料	保存方法	採取量（単位） 必要量（単位）	基準値	所要日数	容器	備考
サルモネラ属菌	リアルタイムPCR法 または培養法	糞便	冷蔵	採取容器に色が 付く程度	陰性（-）	2～10	1	
腸管出血性大腸菌					陰性（-）	2～10		
赤痢菌					陰性（-）	2～10		
腸炎ピブリオ菌	培養法				陰性（-）	4～10		
コレラ菌					陰性（-）	4～10		
カンピロバクター属菌					陰性（-）	4～10		
エルシニア属菌					陰性（-）	4～10		
黄色ブドウ球菌								陰性（-）

《検体の採取条件》

- 水洗便器では、トイレットペーパーを3～4重にして水面に浮かべ、その上に糞便を採り、採便する。

《検体の提出条件》

※ 返送時、検体ラベル、依頼書を同封すること。

- 採取後、直ちに返送すること。やむを得ず保存する場合、冷蔵で保存する。
- 採取した糞便は漏れないように採便管を密栓し、常温または冷蔵で返送する。

《判定基準》

- 細菌同定は、菌の形態、染色性、生化学的性状並びに血清学的性状、PCR法等により行われ、その病原体と一致するもの陽性とする。
- 病原体が分離、検出されない場合を正常（陰性）とし、病原体が分離、検出された場合を異常（陽性）とする。

6.2 検便検査（ウイルス検出検査）

検査項目	検査方法	検査材料	保存方法	採取量（単位） 必要量（単位）	基準値	所要日数 （営業日）	容器	備考
ノロウイルス	リアルタイム RT-PCR 法	糞便	冷凍	1.0（g）	陰性（-）	1～2	2	研究用試薬
ノロウイルス	イムノクロマト法				陰性（-）	2～5		研究用試薬
ノロウイルス	ELISA 法				陰性（-）	受注停止中		研究用試薬
ロタウイルス	リアルタイム RT-PCR 法				陰性（-）	3～7		研究用試薬
サポウイルス	リアルタイム RT-PCR 法				陰性（-）	3～7		研究用試薬
A 型肝炎ウイルス	リアルタイム RT-PCR 法				陰性（-）	3～7		研究用試薬

《検体の採取条件》

- 水洗便器では、トイレットペーパーを3～4重にして水面に浮かべ、その上に糞便を採り、採便する。

《検体の提出条件》

※ 返送時、検体ラベル、依頼書を同封すること。

- 採取した糞便は漏れないように採便管を密栓し、冷凍便（0℃以下）で送ること。

《判定基準》

- 遺伝子検査（リアルタイム PCR 法）：病原性遺伝子の増幅シグナルが確認できたものを陽性（+）とする。
- イムノクロマト法：検査キットのコントロールライン及びテストラインに線が現れたものを陽性（+）とする。
- ELISA 法：反応ウェルの吸光度を測定し、カットオフ値より高いものを陽性（+）とする。

6.3 性感染症検査

検査項目	検査方法	検査材料	保存方法	採取量 (単位) 必要量 (単位)	基準値	所要日数 (営業日)	容器	備考
梅毒	ECLIA 法	血液ろ紙	常温	約 50 (μl)	陰性 (-)	2	3	体外用診断薬
HIV (スクリーニング)	ECLIA 法 (第4世代スクリーニング)	血液ろ紙	常温	約 50 (μl)	陰性 (-)	2	3	体外用診断薬
B型肝炎ウイルス検査	ECLIA 法	血液ろ紙	常温	約 50 (μl)	陰性 (-)	2	3	体外用診断薬
C型肝炎ウイルス検査	ECLIA 法	血液ろ紙	常温	約 50 (μl)	陰性 (-)	2	3	体外用診断薬
淋病検査 (性器)	リアルタイム RT-PCR 法	男性：尿 女性：腔擦過物	常温	尿：2.0 (ml)	陰性 (-)	2	4 5	研究試薬
淋病検査 (咽頭)	リアルタイム RT-PCR 法	うがい液	常温	2.0 (ml)	陰性 (-)	2	6	研究試薬
淋病検査 (肛門)	リアルタイム RT-PCR 法	肛門	常温	-	陰性 (-)	2	9	研究試薬
クラミジア検査 (性器)	リアルタイム RT-PCR 法	男性：尿 女性：腔擦過物	常温	尿：2.0 (ml)	陰性 (-)	2	4 5	研究試薬
クラミジア検査 (咽頭)	リアルタイム RT-PCR 法	うがい液	常温	2.0 (ml)	陰性 (-)	2	6	研究試薬
クラミジア検査 (肛門)	リアルタイム RT-PCR 法	肛門	常温	-	陰性 (-)	2	9	研究試薬
カンジダ検査	鏡検法 リアルタイム PCR 法	男性：皮膚擦過物 女性：腔擦過物	常温	-	陰性 (-)	2	8 7	研究試薬
トリコモナス検査	リアルタイム PCR 法	男性：尿 女性：腔擦過物	常温	尿：2.0 (ml)	陰性 (-)	2	4 5	研究試薬

《検体の採取条件》

- 血液ろ紙：濾紙に印字の円の面積に裏面に染みる程度の血液を付着させる。4つの円全て同様。
- 尿：最後の排尿から2時間以上経過後、専用カップ初尿を採取する。スポイトを用いて、必要容量を専用容器に移す。
- 腔擦過物 (淋菌・クラミジア・トリコモナス)：滅菌スワブを腔内に入れ、分泌液を拭い取る。採取後、専用容器にスワブをいれ、10回ほど懸濁する。
- 肛門：専用スワブを用いて、3cmほど挿入し、直腸周辺を拭う。採取後、専用容器にスワブをいれ、10回ほど懸濁する。
- うがい液：水道水を口に含み、20秒程うがいを行い、専用カップには吐き出す。スポイトを用いて、必要容量を専用容器に移す。
- 皮膚擦過物：専用スワブを用いて、亀頭周辺の皮膚を拭う。採取後、スワブケースに入れる。
- 腔擦過物 (カンジダ)：滅菌スワブを腔内に入れ、分泌液を拭い取る。採取後、採取後、スワブケースに入れる。

《検体の提出条件》

※ 返送時、検体ラベル、依頼書を同封すること。

- 検体は、採取後ただちに、専用封筒に入れ返送する。
- 複数の検査材料を検査する場合、同時に提出する。

《判定基準》

- 遺伝子検査 (リアルタイム PCR 法)：病原性遺伝子の増幅シグナルが確認できたものを陽性 (+) とする。
- ECLIA 法：免疫学的検査は各抗原または抗体が検出されなかったら正常 (陰性) とし、COI \geq 0.5 で検出されたら異常 (陽性) とする。
- 鏡検法：Gram 染色を行い、顕微鏡を用いて観察を行い、目的菌が1~3個/1視野で遺伝子検査を実施する。

6.4 尿・糞便等一般検査

検査項目	検査方法	検査材料	保存方法	採取量 (単位) 必要量 (単位)	基準値	所要日数 (営業日)	容器	備考
ぎょう虫	ウスイ法	肛門周囲	常温	—	陰性 (-)	3	10	
虫卵検査	直接塗抹法	糞便	冷蔵	1.0 (g)	陰性 (-)	3	2	
尿定性検査 (蛋白)	試験紙法 (pH 指示薬の蛋白誤差法)	尿	冷蔵	1.0 (ml)	陰性 (-)	要相談	12	体外用診断薬
尿定性検査 (潜血)	試験紙法 (ヘモグロビンのペルオキシ ダーゼ様作用)	尿	冷蔵	1.0 (ml)	陰性 (-)	要相談	12	体外用診断薬
尿定性検査 (ブドウ糖)	試験紙法 酵素法 (GOD, POD 法)	尿	冷蔵	1.0 (ml)	陰性 (-)	要相談	12	体外用診断薬

《検体の採取条件》

- ぎょう虫検査は、寝起き後、日付を分けて実施することが望ましい。
- 尿定性試験は、早朝第一尿が望ましい。また、採取時は最初に出てくる尿は捨て、中間尿を採取することが望ましい。

《検体の提出条件》

※ 返送時、検体ラベル、依頼書を同封すること。

- セロハンは 1 日目と 2 日目の○印を丁寧に貼り合わせる、返送する。
- 尿は漏れないように容器を密栓し、専用袋に入れ、回収依頼を行う。

《判定基準》

- 寄生虫の確認は、セロハンに付着した蟻虫卵が、または直接塗抹で虫卵が鏡検により確認されなかった場合を正常（陰性）とし、確認された場合を異常（陽性）とする。
- 尿定性試験は蛋白±以下、ブドウ糖及び潜血-を正常（陰性）とし、蛋白 1+以上、ブドウ糖、潜血±以上を異常（陽性）とする。

6.5 その他感染症に関する検査

検査項目	検査方法	検査材料	保存方法	採取量(単位) 必要量(単位)	基準値	所要日数 (営業日)	容器	備考
エムボックス	リアルタイム PCR 法	唾液	常温	0.5 (ml)	陰性 (-)	3~7	11	研究用試薬
新型コロナウイルス	リアルタイム RT-PCR 法	唾液	常温	0.5 (ml)	陰性 (-)	受注停止中	11	研究用試薬
ピロリ菌	ELISA 法	糞便	冷凍	1.0 (g)	陰性 (-)	2~3	2	体外用診断薬

《検体の採取条件》

- 唾液の採取1時間前には、歯磨きや飲食を控えること。
- 水洗便器では、トイレットペーパーを3~4重にして水面に浮かべ、その上に糞便を採り、採便する。

《検体の提出条件》

※ 返送時、検体ラベル、依頼書を同封すること。

- 唾液は漏れないように容器を密栓し、保護袋に入れる。
- 採取した糞便は漏れないように採便管を密栓し、冷凍便で送付する。

《判定基準》

- 遺伝子検査 (リアルタイム PCR 法) : 病原性遺伝子の増幅シグナルが確認できたものを陽性 (+) とする。
- ELISA 法 : 反応ウェルの吸光度を測定し、カットオフ値より高いものを陽性 (+) とする。

7 検査容器

容器 No.	名称	有効期限
1	採便管（ゼリーあり）	容器に記載

容器 No.	名称	有効期限
2	採便管（ゼリーなし）	容器に記載

容器 No.	名称	有効期限
3	輸送血液ろ紙セット	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・ランセット ・ろ紙 ・消毒綿、絆創膏 	

容器 No.	名称	有効期限
4	尿採材セット（STI）	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・採取カップ ・スポイト ・保存剤入り容器 	

容器 No.	名称	有効期限
5	膣擦過物採材セット（NG/CT/TV）	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・滅菌スワブ ・保存剤入り容器 	

容器 No.	名称	有効期限
6	うがい液採材セット	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・採尿カップ ・スポイト ・保存剤入り容器 	

容器 No.	名称	有効期限
7	皮膚擦過物採材セット	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・滅菌スワブ ・スワブケース 	

容器 No.	名称	有効期限
8	皮膚擦過物採材セット（カンジダ）	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・滅菌スワブ ・スワブケース 	

容器 No.	名称	有効期限
9	直腸採材セット	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・滅菌スワブ ・保存剤入り容器 	

容器 No.	名称	有効期限
10	セロハン	容器に記載

容器 No.	名称	有効期限
11	唾液採材セット	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・保存剤入り容器 	

容器 No.	名称	有効期限
12	尿採材セット	容器に記載
	<ul style="list-style-type: none"> ・採尿カップ ・採取容器 	

容器 No.	名称	有効期限
13		容器に記載

容器 No.	名称	有効期限
14		容器に記載

8 参考文献

- 1) 食品衛生検査指針 2015 (社) 日本食品衛生協会
- 2) イムノキャッチ - ノロ Plus 「栄研」 ノロウイルス抗原キット
- 3) NV-EIA 「生研」 EIA 法によるノロウイルス (NV) 抗原検出キット
- 4) 日本寄生虫学会用語委員会 「暫定新寄生虫和名表」 2008 年 5 月 22 日
- 5) 西村直行ら 「混合糞便からの直接 PCR による食中毒菌拡散検査に向けた検討」 感染症学雑誌 2012 : 86 (6) : 741-87
- 6) 2019-nCoV (新型コロナウイルス) 感染を疑う患者の検体採取・輸送マニュアル (厚生労働省)
- 7) 病原体検出マニュアル 2019-nCoV Ver.2.9.1 (国立感染症研究所)
- 8) テストメイト ピロリ抗原 EIA によるピロリ菌抗原検出キット
- 9) Test Procedure: Monkeypox virus Generic Real-Time PCR Test 2022.6.6 (CDC)
- 10) 病原体検出マニュアル エムボックスウイルス 第 4 版 2023.6 (国立感染症研究所)
- 11) 病原体検出マニュアル ロタウイルス 第 2 版 2019.6 (国立感染症研究所)
- 12) 病原体検出マニュアル サポウイルス 第 1 版 2021.7 (国立感染症研究所)
- 13) A 型肝炎ウイルス 検出マニュアル 第 2 版 2018.12 (国立感染症研究所)
- 14) 尿試験紙検討委員会 I. 「尿試験紙検査法」 JCCLS 提案指針 日本臨床検査標準協議会会誌 16(2):33-55
- 15) トレポネーマ抗体キット エクルーシス®試薬 Anti-TP
- 16) ヒト免疫不全症ウイルス 1p24 抗原・HIV 抗体キット エクルーシス®試薬 HIV combi PT